



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月14日  
上場取引所 東

上場会社名 仙波糖化工業株式会社  
 コード番号 2916 URL <http://www.sembatohka.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 光夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 芝山 哲 TEL 0285-82-2171  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,359	8.6	773	36.8	732	25.7	549	37.5
29年3月期第3四半期	13,224	0.9	565	0.9	582	8.6	399	8.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 703百万円 (53.9%) 29年3月期第3四半期 457百万円 (21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	48.26	—
29年3月期第3四半期	35.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,182	8,617	47.4
29年3月期	16,710	8,027	48.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,613百万円 29年3月期 8,023百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	4.4	750	4.2	730	0.4	440	0.2	38.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	11,400,000株	29年3月期	11,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	16,045株	29年3月期	16,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	11,383,955株	29年3月期3Q	11,383,996株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、東アジアでの地政学リスクの高まりもあり、先行き不透明の状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向や選別消費の傾向が高まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは自社商材の拡販と提案営業の強化に加え、グループ全生産拠点の生産性向上に注力してまいりました。その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は143億59百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。

製品の種別別売上高では、カaramel製品は、飲料向け製品及びデザート関連製品が増加し、27億41百万円（前年同四半期比6.3%増）となりました。乾燥製品類は、粉末茶の伸張を主因に、45億97百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が好調に推移し、40億75百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。冷凍製品は、冷凍山芋及び冷凍和菓子が引き続き好調で、19億79百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。その他は、子会社の受託加工がやや減少し、9億66百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、構造改革の成果もあり、営業利益は7億73百万円（前年同四半期比36.8%増）、経常利益は7億32百万円（前年同四半期比25.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億49百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## ○流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、102億50百万円（前連結会計年度末は91億91百万円）となり10億58百万円増加しました。その主なものは、受取手形及び売掛金の増加（8億40百万円）等であります。

## ○固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、79億32百万円（前連結会計年度末は75億18百万円）となり4億13百万円増加しました。その主なものは、投資有価証券の増加（1億94百万円）等であります。

## ○流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、68億72百万円（前連結会計年度末は60億64百万円）となり8億8百万円増加しました。その主なものは、短期借入金の増加（5億65百万円）、支払手形及び買掛金の増加（3億71百万円）等であります。

## ○固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、26億93百万円（前連結会計年度末は26億19百万円）となり73百万円増加しました。その主なものは、退職給付に係る負債の増加（39百万円）等であります。

## ○純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、86億17百万円（前連結会計年度末は80億27百万円）となり5億90百万円増加しました。その主なものは、利益剰余金の増加（4億35百万円）等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,870,601	2,102,625
受取手形及び売掛金	4,050,065	4,890,439
商品及び製品	1,676,483	1,865,807
仕掛品	580,484	418,915
原材料及び貯蔵品	683,896	745,636
繰延税金資産	143,448	95,533
その他	190,410	132,147
貸倒引当金	△3,415	△1,103
流動資産合計	9,191,975	10,250,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,820,621	3,012,471
機械装置及び運搬具(純額)	1,853,430	1,929,015
その他(純額)	845,423	711,849
有形固定資産合計	5,519,474	5,653,336
無形固定資産	58,839	70,490
投資その他の資産		
投資有価証券	1,572,680	1,767,160
繰延税金資産	221,103	154,533
その他	156,573	297,011
貸倒引当金	△9,680	△9,741
投資その他の資産合計	1,940,676	2,208,963
固定資産合計	7,518,990	7,932,790
資産合計	16,710,966	18,182,793

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,179,828	2,551,228
短期借入金	2,429,515	2,994,882
未払法人税等	112,593	132,238
賞与引当金	274,995	148,182
その他	1,067,482	1,046,032
流動負債合計	6,064,415	6,872,564
固定負債		
長期借入金	1,247,171	1,194,589
退職給付に係る負債	1,217,564	1,256,926
資産除去債務	51,874	51,973
その他	102,906	189,635
固定負債合計	2,619,516	2,693,124
負債合計	8,683,931	9,565,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	4,595,484	5,030,993
自己株式	△5,058	△5,058
株主資本合計	7,294,035	7,729,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,802	883,229
為替換算調整勘定	11,579	11,772
退職給付に係る調整累計額	△12,410	△11,082
その他の包括利益累計額合計	728,971	883,919
非支配株主持分	4,027	3,639
純資産合計	8,027,034	8,617,104
負債純資産合計	16,710,966	18,182,793

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,224,098	14,359,924
売上原価	10,606,403	11,401,431
売上総利益	2,617,694	2,958,492
販売費及び一般管理費	2,052,263	2,184,832
営業利益	565,431	773,660
営業外収益		
受取利息	2,899	905
受取配当金	23,464	23,110
持分法による投資利益	2,928	—
為替差益	—	694
その他	14,483	22,478
営業外収益合計	43,776	47,188
営業外費用		
支払利息	19,380	16,546
持分法による投資損失	—	60,143
為替差損	1,916	—
その他	5,173	11,914
営業外費用合計	26,470	88,604
経常利益	582,737	732,244
特別利益		
投資有価証券売却益	—	66,975
特別利益合計	—	66,975
税金等調整前四半期純利益	582,737	799,219
法人税、住民税及び事業税	137,122	213,059
法人税等調整額	46,050	37,038
法人税等合計	183,173	250,098
四半期純利益	399,564	549,120
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△227
親会社株主に帰属する四半期純利益	399,564	549,348

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	399,564	549,120
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,896	153,426
為替換算調整勘定	△14,812	288
退職給付に係る調整額	1,058	1,328
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,354	△255
その他の包括利益合計	57,787	154,788
四半期包括利益	457,352	703,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	457,352	704,296
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△387



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(経営への関与の高まりによる子会社化)

当社は、平成30年2月14日開催の取締役会において、持分法適用関連会社である福建龍和食品実業有限公司へ当社取締役2名を同社の董事へ追加したことを受け、同社を連結子会社とする決議をいたしました。概要は以下のとおりであります。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称：福建龍和食品実業有限公司

事業の内容：凍結乾燥食品等の製造・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループの海外生産拠点の拡充及び中国市場の開拓強化、原料調達ネットワークの強化を図るためであります。

(3) 企業結合日

平成30年1月1日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

意思決定機関の支配

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 50.0%

企業結合日に追加取得した議決権比率 20.0%

取得後の議決権比率 70.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が当該会社に董事を追加したことで、意思決定機関を支配することになったためであります。

2. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

内容につきましては精査中であります。

3. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

内容につきましては精査中であります。